



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月14日

上場会社名 株式会社スパンクリートコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 5277 URL http://www.spancretecorp.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村山 典子
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 大友 和俊 TEL 03-5689-6311
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,096	△8.4	△126	—	△123	—	△111	—
2022年3月期第2四半期	1,197	—	△159	—	△160	—	△100	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △138百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 △147百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△15.02	—
2022年3月期第2四半期	△12.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,569	6,415	82.1
2022年3月期	7,810	6,554	81.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 6,212百万円 2022年3月期 6,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,439	△5.3	△300	—	△297	—	△341	—	△45.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	9,332,400株	2022年3月期	9,332,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,887,792株	2022年3月期	1,884,424株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	7,446,844株	2022年3月期2Q	7,790,951株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11
3. その他	12
継続企業の前提に関する重要事象等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

なお、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界GDPは中国とロシアで景気が低迷し、米国で消費者支出が予想を下回ったことからマイナス成長となりました。我が国では行動制限の緩和を受けて人流が増加し、外食や旅行などの個人消費が経済回復の後押しとなりつつあります。

この間、建設市場におきましては、公共建設投資は底堅く推移しており、また民間建設投資も設備投資意欲の回復等により堅調との見方が出来きます。しかしながら、資材価格の高騰や労務需給不足等への懸念など、引き続き厳しい環境下であり、当社グループにおきましても、主たる原材料のセメント・PC鋼線の価格上昇傾向に終息が見えず、また、当期は受注案件の着工遅延が多く発生しており、厳しい状況が続いております。

このような状況下で当社の当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,096百万円（前年同四半期比8.4%減）、営業損失126百万円（前年同四半期は営業損失159百万円）、経常損失123百万円（前年同四半期は経常損失160百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失111百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失100百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① スパンクリート事業

当事業は、原材料価格の値上げに対応し、一部販売価格への転嫁を行っておりますが、全顧客の承認は困難を極めております。また、受注予定事業計画自体の中止の影響もあり、販売（売上）数量は、当初見込んでいた数量に未達でありました。その結果、売上高は867百万円（前年同四半期比3.8%減）、セグメント損失130百万円（前年同四半期はセグメント損失156百万円）となりました。

② 不動産事業

当事業は、オフィスビル3棟の賃料収入が安定収益源となっており、売上高119百万円（前年同四半期比4.3%増）、セグメント利益60百万円（前年同四半期比8.6%増）となりました。

③ プレキャスト事業

当事業は、創業2年目に入り、販売（売上）数量は計画数量を維持しているものの、競合他社との価格競争に直面し、営業損失の計上を余儀なくされており、競争力強化のために製造コストの抑制に努めております。また、当期は受注案件に工期遅延が発生しており、その結果、売上高109百万円（前年同四半期比39.3%減）、セグメント損失56百万円（前年同四半期はセグメント損失59百万円）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は商品及び製品並びに原材料及び貯蔵品が増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産の減少により、前連結会計年度末に比べ219百万円減少し、3,490百万円となりました。

固定資産は建物、機械及び装置等の有形固定資産が増加したものの、投資その他の資産の減少により、前連結会計年度末に比べ21百万円減少し、4,079百万円となりました。

この結果、総資産は、7,569百万円となり、前連結会計年度末に比べ241百万円減少いたしました。

流動負債は未払法人税等及び買掛金が増加したものの、工事未払金及び受注損失引当金の減少により、前連結会計年度末に比べ90百万円減少し、736百万円となりました。

固定負債は長期預り敷金及びその他（繰延税金負債）の減少により、前連結会計年度末に比べ11百万円減少し、417百万円となりました。

この結果、負債は1,154百万円となり、前連結会計年度末に比べ102百万円減少いたしました。

純資産は利益剰余金の減少により、前連結会計年度末に比べ138百万円減少し、6,415百万円となりました。

この結果、自己資本比率は82.1%（前連結会計年度末は81.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績につきましては、2022年8月15日に公表しました業績予想数値から変更ありません。

なお、2023年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で当社グループが入手可能な情報に基づき業績予想を算定しております。上記の予想は今後の様々な要因により大きく変動する可能性があり、業績に影響を及ぼす事象が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,562,237	2,443,715
受取手形、売掛金及び契約資産	829,708	625,334
完成工事未収入金	18,537	715
商品及び製品	87,714	208,655
仕掛品	14,185	19,050
未成工事支出金	32,569	115
原材料及び貯蔵品	49,525	71,425
その他	115,220	121,188
流動資産合計	3,709,700	3,490,199
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	907,821	920,308
機械及び装置（純額）	121,251	127,935
土地	2,680,164	2,680,164
その他（純額）	156,972	146,219
有形固定資産合計	3,866,210	3,874,629
無形固定資産	7,755	4,520
投資その他の資産		
投資有価証券	196,023	185,695
その他	30,955	14,591
投資その他の資産合計	226,979	200,286
固定資産合計	4,100,944	4,079,436
資産合計	7,810,645	7,569,635

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	67,547	76,224
工事未払金	45,935	25,901
短期借入金	500,000	500,000
未払法人税等	4,503	22,805
賞与引当金	22,975	22,239
受注損失引当金	16,971	—
その他	169,721	89,822
流動負債合計	827,654	736,994
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	204,782	204,782
長期預り敷金	167,905	160,740
その他	56,132	51,648
固定負債合計	428,821	417,172
負債合計	1,256,475	1,154,167
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,295,906	3,295,906
資本剰余金	3,010,369	3,010,369
利益剰余金	82,087	△29,776
自己株式	△451,339	△451,339
株主資本合計	5,937,022	5,825,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105,036	97,870
土地再評価差額金	289,717	289,717
その他の包括利益累計額合計	394,753	387,587
非支配株主持分	222,394	202,722
純資産合計	6,554,170	6,415,468
負債純資産合計	7,810,645	7,569,635

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,197,594	1,096,864
売上原価	1,081,796	1,009,938
売上総利益	115,797	86,925
販売費及び一般管理費	275,368	213,339
営業損失(△)	△159,570	△126,414
営業外収益		
受取利息	12	8
受取配当金	3,983	2,802
仕入割引	741	654
その他	718	1,090
営業外収益合計	5,455	4,555
営業外費用		
支払利息	1,542	1,539
創立費	4,162	—
その他	716	59
営業外費用合計	6,421	1,599
経常損失(△)	△160,536	△123,457
特別利益		
投資有価証券売却益	78,635	—
特別利益合計	78,635	—
特別損失		
減損損失	35,429	4,234
その他	4,822	—
特別損失合計	40,252	4,234
税金等調整前四半期純損失(△)	△122,153	△127,692
法人税等	1,697	3,843
四半期純損失(△)	△123,851	△131,535
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△23,041	△19,671
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△100,809	△111,863

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△123,851	△131,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,256	△7,165
その他の包括利益合計	△23,256	△7,165
四半期包括利益	△147,108	△138,701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△124,066	△119,029
非支配株主に係る四半期包括利益	△23,041	△19,671

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△122,153	△127,692
減価償却費	55,478	51,386
減損損失	35,429	4,234
賞与引当金の増減額(△は減少)	400	△735
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	△16,971
受取利息及び受取配当金	△3,997	△2,810
支払利息	1,542	1,539
投資有価証券売却損益(△は益)	△78,635	—
売上債権の増減額(△は増加)	252,008	222,196
棚卸資産の増減額(△は増加)	△152,560	△115,250
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△3,365	△38,896
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,764	8,677
工事未払金の増減額(△は減少)	△52,541	△20,034
その他	△34,637	△49,871
小計	△115,797	△84,228
利息及び配当金の受取額	3,995	2,810
利息の支払額	△1,500	△1,527
法人税等の支払額	△72,576	△1,062
法人税等の還付額	—	30,822
営業活動によるキャッシュ・フロー	△185,878	△53,185
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△69,102	△77,298
無形固定資産の取得による支出	△105	△387
投資有価証券の取得による支出	△2,716	—
投資有価証券の売却による収入	143,268	—
長期貸付けによる支出	—	△105
長期貸付金の回収による収入	356	135
長期預り敷金の返還による支出	△7,429	△18
長期預り敷金の受入による収入	17,029	44
保険積立金の解約による収入	—	12,456
その他	△10,495	804
投資活動によるキャッシュ・フロー	70,804	△64,369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△62,341	△43
非支配株主からの払込みによる収入	320,000	—
リース債務の返済による支出	△769	△923
財務活動によるキャッシュ・フロー	256,889	△967
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	141,814	△118,522
現金及び現金同等物の期首残高	2,664,828	2,562,237
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,806,643	2,443,715

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 減損損失

前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しました。

場所	用途	減損損失	
		種類	金額 (千円)
本社（東京都文京区）	спанクリート事業	その他	8,393
宇都宮工場 (栃木県宇都宮市)	спанクリート事業	建物	3,875
		構築物	22,720
		その他	438
合計			35,429

当社グループは、原則として事業用資産については事業部門を基準としてグルーピングを行っており、遊休資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

上記の資産については、継続的に営業損失を計上していることから、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、回収可能価額は、正味売却価額又は使用価値により測定しており、正味売却価額は不動産鑑定評価額を基準に評価し、使用価値は将来キャッシュ・フローが見込めないため零として評価しております。

当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しました。

場所	用途	減損損失	
		種類	金額 (千円)
宇都宮工場 (栃木県宇都宮市)	スパンクリート事業	機械及び装置	1,889
		その他	2,344
合計			4,234

当社グループは、原則として事業用資産については事業部門を基準としてグルーピングを行っており、遊休資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

上記の資産については、継続的に営業損失を計上していることから、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、回収可能価額は、正味売却価額又は使用価値により測定しており、正味売却価額は不動産鑑定評価額を基準に評価し、使用価値は将来キャッシュ・フローが見込めないため零として評価しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額
	スパンクリート 事業	不動産事業	プレキャスト 事業	計	
売上高					
一時点で移転される財	713,522	—	180,692	894,215	894,215
一定の期間にわたり移転さ れる財	188,742	—	—	188,742	188,742
顧客との契約から生じる収 益	902,265	—	180,692	1,082,958	1,082,958
その他の収益	—	114,636	—	114,636	114,636
外部顧客への売上高	902,265	114,636	180,692	1,197,594	1,197,594
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	902,265	114,636	180,692	1,197,594	1,197,594
セグメント利益又は損失 (△)	△156,443	56,151	△59,278	△159,570	△159,570

(注) 1. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく不動産の賃貸収入等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「スパンクリート事業」セグメントにおいて、継続的に営業損失を計上していることから、将来の回収可能性を検討した結果、当第2四半期連結会計期間末においてスパンクリート事業に係る固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額することが適切であると判断し、当該減少額を減損損失として計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては35,429千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額
	スパンクリート 事業	不動産事業	プレキャスト 事業	計	
売上高					
一時点で移転される財	670,037	—	109,595	779,632	779,632
一定の期間にわたり移転さ れる財	197,669	—	—	197,669	197,669
顧客との契約から生じる収 益	867,706	—	109,595	977,301	977,301
その他の収益	—	119,562	—	119,562	119,562
外部顧客への売上高	867,706	119,562	109,595	1,096,864	1,096,864
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	867,706	119,562	109,595	1,096,864	1,096,864
セグメント利益又は損失 (△)	△130,897	60,964	△56,481	△126,414	△126,414

(注) 1. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく不動産の賃貸収入等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「スパンクリート事業」セグメントにおいて、継続的に営業損失を計上していることから、将来の回収可能性を検討した結果、当第2四半期連結会計期間末においてスパンクリート事業に係る固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額することが適切であると判断し、当該減少額を減損損失として計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては4,234千円であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。